

中学生英語力向上プログラム

山形県教育庁義務教育課

○ はじめに

山形県教育委員会では、平成18年度から21年度まで、県朝日少年自然の家を会場に、「英語を用いて聞いたり話したりする短期集中的な学習を通じて、実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに、英語を用いてのコミュニケーションの楽しさを味わわせ、積極的にコミュニケーションしようとする意欲を高めること」を目的として、中学生を対象に、「E-CAMP YAMAGATA（山形県英語合宿）」を、3泊4日の日程で実施しました。各年度に参加いただいた、市町村教育委員会、県教育センター及び県立高等学校ALT（外国語指導助手）の皆様をはじめ、多くの方々のご協力により、大きな成果をあげることができました。その成果をもとに、このたび、中学生の英語力向上のためのプログラムを作成いたしました。各中学校で実施される宿泊体験学習のプログラムのひとつとしていただくなど、中学生の英語力向上に向け、御活用ください。

1 事前の連絡

プログラムの実施にあたり、事前に準備物等を生徒・保護者に連絡します。本プログラムでは、最終の活動として、生徒一人一人が自分が「思いを寄せているもの」を英語で紹介するスピーチを行いますので、その紹介したいものを持参してもらいます。山形県英語合宿で連絡した内容の主なものを紹介します。

参加者へのお知らせ(抜粋)

この度は、E-CAMP YAMAGATA 2009（平成21年度山形県英語合宿）へ応募くださりありがとうございました。このお知らせをよく読んで、合宿への準備を進めてください。なお、このお知らせは、家族の皆さんにも読んでもらってください。

- 持ち物
 - ・着替え（3泊4日に必要と思われる衣類）
 - ・各中学校の指定ジャージ、内履き ・歯磨き、タオル ・筆記用具
 - ・教科書、辞書（現在学校で使っているもの） ・健康保険証のコピー
 - ・薬（現在服用しているものがある場合） ・腕時計（現在持っている生徒のみ）
 - ・ALTに紹介したい物（思い出の記念品や写真、日本文化を紹介する物、ずっと大切にしている物、最近興味を持っている物など何でもかまいません。修了スピーチで、持ってきた物を英語で紹介してもらいます。）

○ その他 生徒の皆さんへ

- (1) 合宿中の生活は基本的に班ごとの生活になります。班のメンバーについては、開講式のときにお知らせします。班の中で、班長、生活係、食事係、保健係を決めて4日間の生活を送ります。係は1日目のオリエンテーションのときに決めます。
- (2) 当日のプログラムについては、講師の関係から変更になる場合があります。
- (3) 携帯電話は合宿中原則として使用できません。どうしても必要な場合は事前に担当へ連絡してください。
- (4) その他、合宿中の生活についての詳しいことは、1日目のオリエンテーションでお話します。

2 日程

1泊2日の日程です。会場としては、可能な限り英語での生活を体験するということが目的とすることから、宿泊施設を備えたところが適当です。山形県英語合宿は、平成18年度から21年度まで、県朝日少年自然の家を会場として実施しました。

		1日目	2日目
午前	6:00		起床
	7:00		朝食
	8:00		清掃 準備 講師ミーティング 朝の会
	9:00	開講式 オリエンテーション	ALTと活動しようⅢ
	10:00	ALTと活動しようⅠ	
	11:00	発音・聞き取りトレーニング	スピーチトレーニングⅡ
午後	12:00	昼食・休憩	昼食・休憩
	13:00		英文を読もう
	14:00	英語でウォークラリー	英文を書こう
	15:00		修了スピーチ
	16:00	スピーチトレーニングⅠ	閉講式
	17:00		
	18:00	夕食	
	19:00	ALTと活動しようⅡ	
	20:00	入浴	
	21:00	1日のまとめ 講師ミーティング	
	22:00	就寝	

3 内容等

(1) 「開講式、オリエンテーション」

1日目 9:00~10:00

山形県英語合宿の次第を例示します。中学生にとって、難しい表現もあるかと思いますが、進行はすべて英語で行います。

1 Opening Address
2 Address ○The Vice Director of Compulsory Education Division Yamagata Prefectural Board of Education ○The Director of ASAHI CHILDREN'S NATURE CENTER
4 Introduction of the Staff
5 Orientation
6 Announcement

オリエンテーションは、会場となる施設の職員から行っていただく場合もあるかと思えます。山形県英語合宿では、県朝日少年自然の家の職員の方から、利用についてお話いただいた後、以下のような内容を確認しました。

E-CAMP YAMAGATA 2009

キャンプ中の生活について（一部抜粋）

全員が楽しく過ごせるように、お互い協力し合って4日間を生活しましょう。

- 英語での活動以外の生活でも、ALT の先生や日本人スタッフに英語で話しかけたり、友達同士でも英語であいさつをかわしたいするなど、間違いを気にせず、可能な限り英語を使ってみましょう。
- 合宿中の生活は基本的に班ごとの生活になります。班のメンバーについては、同封の参加者名簿を見てください。班の中で、班長、食事係、保健係を決めて4日間の生活を送ります。係は1日目のオリエンテーションのときに決めます。
- 具合が悪くなったときは、班の保健係の人か、日本人スタッフに声をかけてください。
- 熱中症を予防するため、できるだけ水分をとるようにしましょう。麦茶を準備していますので、持って来た自分のコップで飲んでください。水が飲みたい場合は、1階食堂前に給水器がありますので利用してください。
- その他、分からないこと、不安なことがあったら日本人スタッフに声をかけてください。

(2) 「ALTと活動しよう I」

1日目 10:00~11:00

スタッフとして参加するALTと生徒が初めて交流する場面です。できるだけ、1対1で生徒とALTが接することができるような工夫も必要です。

① 自己紹介A

生徒、スタッフ（ALT、日本人）が、全員の枚数分の名刺を持ち、英語であいさつをかわしながら交換します。開始前に、名刺を自分なりにデザインするような時間を設定すると、楽しい名刺交換になります。

② 自己紹介B

生徒とALTを、グループ分けし、1グループに1人ALTが入るようにします。また、各グループに1個ずつボールを準備します。グループごとに丸くなって座り、ALTがボールを投げ、受け取った生徒が英語で自己紹介を行います。

【例】 Hello, everyone. My name is Konnai Koya. I'm very happy to see you. I live in Tendo. I like baseball very much. I'd like to enjoy studying English with you. Thank you.

自己紹介が終わったら、違う生徒にボールを投げ、受け取った生徒が自己紹介を行います。これを繰り返し、最後の生徒はALTにボールを投げ、受け取ったALTが自己紹介を行って終了です。終わったグループは、全部のグループが終わるまで待つようにします。

③ 交流ゲーム

自己紹介の後は、雰囲気づくりのためのゲームを行います。様々な種類のゲームがありますが、ここでは、英語の指示でブラインドウォークを行う活動を紹介します。

生徒を2人組みにし、各組に大き目の付箋を1枚ずつ渡します。その付箋に、2人で相談して好きなマークを書くよう指示します。その後、各組に目隠しを渡し、じゃんけんで負けた方がこれをつけます。じゃんけんにかかった方は、マークを書いた付箋を部屋の好きなところに貼ります。すべての組が貼り終わったら、じゃんけんに勝ったほうの指示で目隠しをした生徒が動き、付箋を探します。早く探し当てた組が勝ちです。このときの、指示は、下記の8つの英語で行うようにします。机や椅子をできるだけ片付けて安全に行うようにします。

貼ってあるところまでは……

Go straight. Turn right. Turn left. Stop.

貼ってある壁などに着いたら……

Up. Down. Right. Left.

(3) 「発音・聞き取りトレーニング」

1日目 11:00~12:00

① 発音

日ごろの授業では、発音について十分な練習の時間が取れないのが実情です。こういった合宿を機会に、生徒が比較的苦手な発音や、イントネーションについて、集中的に取扱うことも効果的と考えます。山形県英語合宿では、ALTと協力して発音練習を行ったあと、まとめの活動として次のような内容を行いました。

次の英単語を、読まれた順に並べ替えて番号で答えよう。

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| (1) ① park | ② bark | ③ dark | [→ →] |
| (2) ① try | ② dry | ③ cry | [→ →] |
| (3) ① hat | ② bad | ③ what | [→ →] |
| (4) ① west | ② vest | ③ best | [→ →] |
| (5) ① tea | ② see | ③ she | [→ →] |
| (6) ① ring | ② sing | ③ thing | [→ →] |
| (7) ① sad | ② that | ③ dad | [→ →] |
| (8) ① right | ② light | ③ white | [→ →] |

② 聞き取り

「聞くこと」に関する活動を考える際には、「正確な聞き取り」と「適切な聞き取り」を意識し、そのバランスに配慮することが必要です。また、リスニングテストの内容に加えて、特に「話すこと」と関連付けた活動を工夫することも大切です。山形県英語合宿で行った活動の例です。

○自己紹介×自己紹介

生徒同士のペアをつくります。最初は、名前、住んでいるところ、好きなもの、興味のあるもの等、英語でお互いに自己紹介をします。相手の自己紹介は、メモをとりながら確実に聞き取るようにします。この後、2つのペアを合わせて、4人グループにし、一人ずつ最初の自己紹介で聞いた相手のことを、グループになった他のペアに、とったメモを見ながら英語で紹介します。

この活動でポイントとなるのは、次の2つです。

- ・相手の話を聞くときは、ただメモを取るだけでなく、英語で「相づちをうつ」、「聞き返す」などしながら聞くこと。
- ・自己紹介を聞くときのメモは、文章で書くのではなく、英語の単語で書くこと。他のペアに紹介するときは、その単語を見ながら英文を作って話すこと。

(4) 「英語でウォークラリー」

2日目 13:00～16:00

この活動は、山形県朝日少年自然の家が、所在地である大江町内を活動の場として行っている体験活動の英語版です。見知らぬ地域を、進行方向を示す英語版の絵地図を頼りに方向を決め、途中で様々な英語の質問などの課題を解決しながら、決められたコースを1週するものです。v

コースは約4.0kmで、所要時間は事前事後の指導と活動を含めて2時間30分程度です。今回のプログラムでは、グループ間の差等を考慮し、3時間を見込んでいます。

◎グループング

生徒とALTを6人程度のグループに分けます。できれば、各グループに1名ずつALTが入るようにします。

◎準備

各グループに、絵地図（資料1）と課題用紙“The quiz”（資料2）、筆記用具を配付します。必要に応じて、各生徒に、帽子、水筒、タオル、雨具などの準備を指示します。

◎実施方法

○オリエンテーション

活動を始める前に、次の点を説明します。できれば、英語で行うことが望ましいのですが、安全に関する内容もありますので、生徒の状況に応じて説明を行うようにします。

1) 絵地図の見方

- ・●印は歩いている現在地を、↑印は進行方向を示しています。
- ・進行方向を決めるためには、分かれ道の前で止まり、絵地図を前に持って、↑方向を見つけるようにします。
- ・各地図の縮尺、方角、間隔などは一定していないので注意しましょう。

2) ラリーの手法

- ・分かれ道に来ても、絵地図に指示のない場合は、必ず直進しましょう。
- ・絵地図にある「目標となるもの」を見落とさないようにしましょう。
- ・道に迷ったときは、正しいコースと思われる地点まで引き返しましょう。
- ・地図の内容はすべて英語です。ALTの先生と相談しながら歩くようにしてください。
- ・「Q(数字)」の地点には課題があります。「課題用紙“The quiz”」のNo.と同じの数字の質問をみんなで考え、その答えを書きましょう。石碑や看板などを参考にしてください。ALTの先生にも手伝ってもらいましょう。

3) 注意すること

- ・班長を中心に同一行動をとり、ALTの先生も含め、全員がそろってゴールしてください。
- ・交通ルールを守り、特に信号のない交差点での横断には十分注意しましょう。
- ・川や池、工事中的場所には近づかないようにしましょう。また、水田や畑、民家には入らないようにしましょう。

○活動

1) スタート準備

- ・班毎に、人員と健康状態をチェックします。
- ・持ち物等の点検確認を行います。

2) スタート

- ・5分おきの時間差スタートとします。

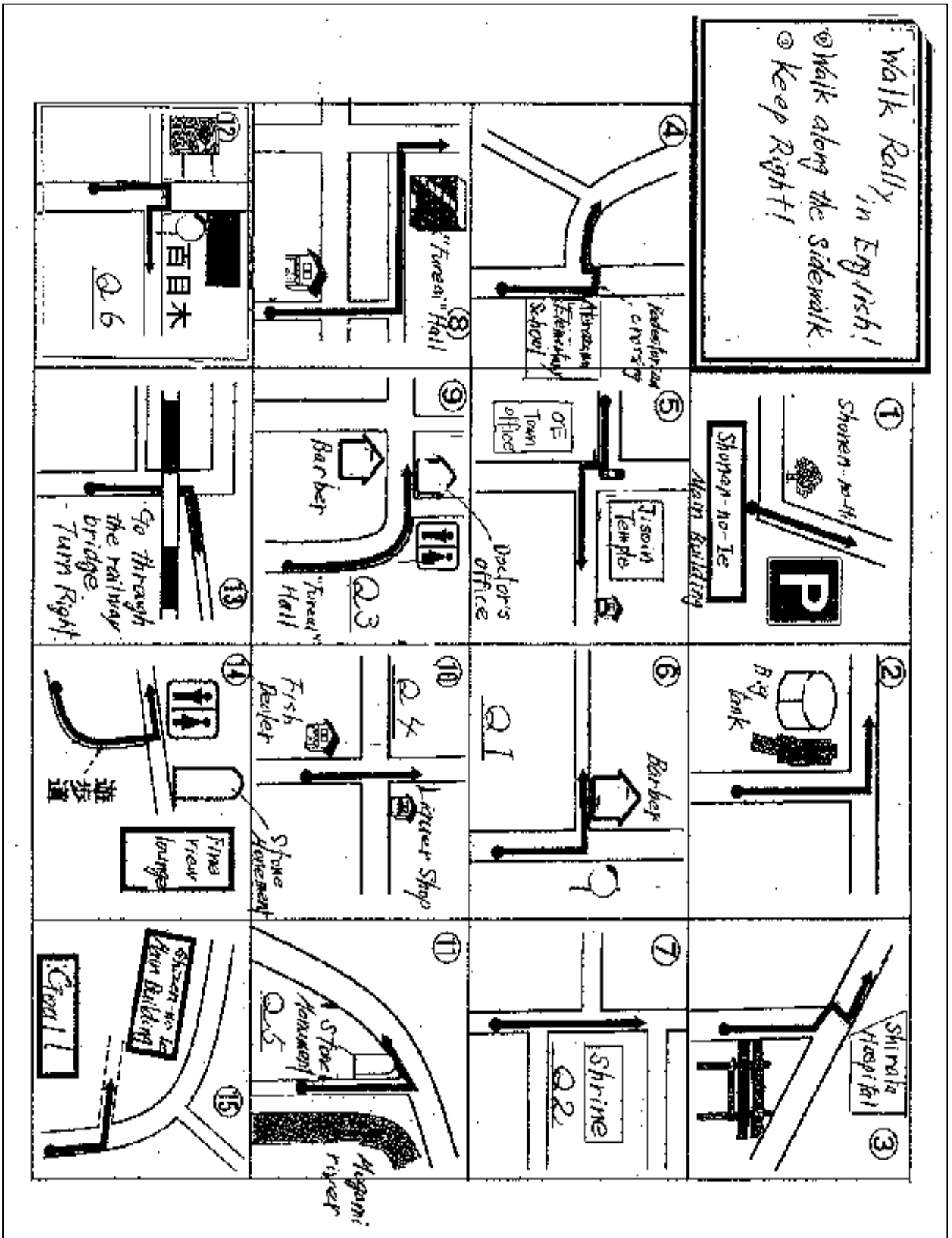
3) ゴール

- ・各グループの所要時間を計ります。1時間30分程度の基準時間を決め、その時間ちょうどでゴールした場合を100点とし、そこから早くても遅くても1分につき1分の原点とします。この方法で各グループの「時間点」を決めます。なお、基準時間は、全員がゴールした後に発表するようにします。
- ・各グループの「課題用紙“The quiz”」を回収し、ALTからのアドバイスなども得ながら、1問10点、60点満点で採点します。
- ・「時間点」と「課題用紙“The quiz”」の点数を合計し、順位を決めます。

○まとめ

順位を発表した後、ALTを交えて、各班で感想を英語で発表しあいます。

ウォークラリー絵地図



ウォークラリー課題用紙

The quiz - Walk Rally

Group _____

No.	Question	Your answer	Check
1	What was the name of this place in Edo period? Answer it in Japanese "Kanji".		
2	This shrine had the storehouse of Matsuyama-han in Edo period. What were there in the storehouse? Answer it in English.		
3	There is "Fureai" hall here now. But there was an elementary school several years ago. Please answer the name of the school in Japanese.		
4	What is the old name of this place? Please answer it in Japanese "Kanji". <i>Let's look for the stone monument!</i>		
5	You can see the big stone monument. What is the title of this song? Answer it in Japanese.		
6	The name of this place is "百目木". Please answer how to read it in Japanese Hiragana.		

正解 : No. 1 御免町 No. 2 rice No. 3 左沢小学校 No. 4 原町
 No. 5 最上川舟歌 No. 6 どめき

(5) 「スピーチトレーニング I」

1日目：16:00～18:00

本プログラムの最終の活動は、生徒一人一人が「思いを寄せているもの」について、英語でスピーチを行うことです。スピーチは、「思いを寄せているもの」を実際に見せながら、それについてスピーチを行う“Show and tell”という方法で行います。

“Show and tell”は、どんなものを見せるかを生徒が選択できるため、生徒自身が自分の興味関心や英語の能力に応じて自由にスピーチの内容を決めることができるという特徴があり、個に応じた表現力の向上という点で効果的な言語活動のひとつです。

1日目の「スピーチトレーニング I」では、ALTからのモデルからスピーチの方法等を学びます。その後、これを踏まえて自分のスピーチの原稿づくりに取り組み、2日目の「スピーチトレーニング II」では、現行の確認と練習等を行います。

① ALTのモデルスピーチ

最初に、ALTから、モデルとなるスピーチを行ってもらいます。その際、生徒には、次のQ1とQ2の答えと、内容についての質問を考えながらスピーチを聞くように指示します。

Q1 What is his/her treasure/the most important thing/favorite thing?

Q2 Why does he/she like/treasure it?

② スピーチ原稿の作成

ALTのモデルスピーチの原稿を参考に、スピーチの手順を説明します。

Hello, everyone! Today I'm going to talk about my pillow. Look at this. This is a picture of my pillow. The shape is like a dog. This is a pillow which was given to me by my parents on my tenth birthday. So I have used it for four years. It changed my sleep since it was given to me. It is very soft and pretty! I like it very much. Thanks to it, I sleep very well every day. How about finding something good for sleeping?
Thank you for listening.

はじめに、自分が紹介したいものが何なのかを話します。

次に、紹介したいものの説明をします。(どうやって自分のものになったか、写真に写っている人はどんな人たちか、特徴的な色や形等)

最後に、紹介したいものへの思い、これからの希望などを話します。

次に、学習プリント(資料3)に沿って、原稿の作成を行います。まず、日本語で書いて、それを英語に直すという手順で行いますが、最初から英語で書いてもかまいません。

(資料3)

Show and Tell

自分の大切なものを英語で紹介しよう

あなたの「紹介したいもの」は何ですか。

「紹介したいもの」を説明しましょう。(どこで手に入れたか、写真であれば写っている人は誰か、特徴的な色や形など)

大切にしている理由や思い出、これからそれを使ってやってみたいことなど、あなたの「紹介したいもの」への「思い」を話しましょう。

英語にしてみましょう。

Name _____

Handwriting practice area with 20 horizontal dashed lines.

(6) 「ALTと活動しよう II」

1日目 19:00~20:00

ここでは、午前中の「I」よりも、ALTと生徒が英語でコミュニケーションをとる場面を増やすようにします。活動の内容としては、英語を通じたゲーム、異文化交流に関する活動など、ALTが主体となって活動を工夫するよう依頼します。

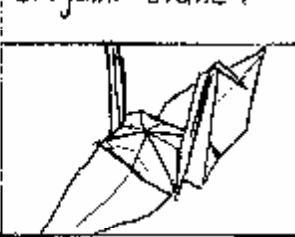
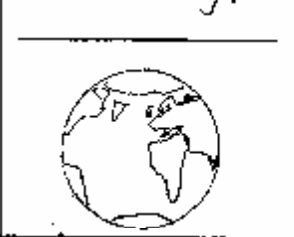
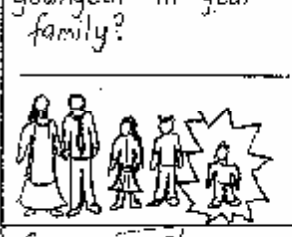

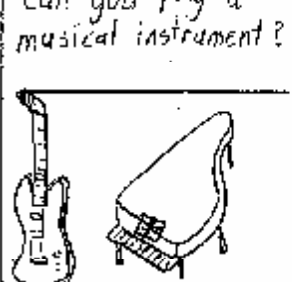
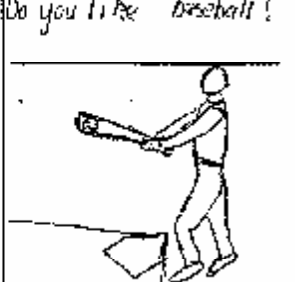

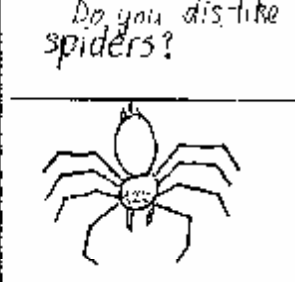


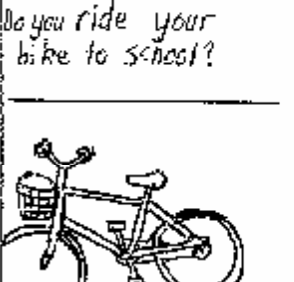
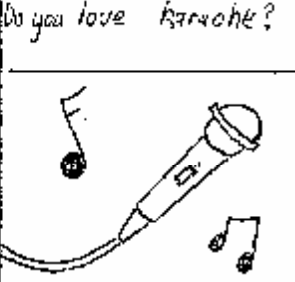
山形県英語合宿で行われた事例を紹介します。

① “Find Someone Who...”

「～が好きな人」、「～ができる人」、「～したことがある人」を英語で質問しながら探し出し、その名前を書き取る活動です。ただ探し出すだけでは単調ですので、シートを作成し（資料4）、ビンゴゲーム方式で行いました。中には、特定の日本人スタッフやALTに尋ねなければならないものもいくつか入っています。また、必ずALTの名前が2人入るようにしました。



FIND SOMEONE WHO ...

<p>Do you love Winter?</p> 	<p>Can you fold an origami crane?</p> 	<p>Have you been to another country?</p> 	<p>Do you have a pet?</p> 
<p>Are you the youngest in your family?</p> 	<p>Can you count to ten in Japanese and English?</p> <p>ichi ni 三四五 one two 7 8 9 10</p>	<p>Do you have a black cell phone?</p> 	<p>Do you like to swim?</p> 
<p>Can you play a musical instrument?</p> 	<p>Do you like baseball?</p> 	<p>FREE!</p> 	<p>Do you dis-like spiders?</p> 
<p>Do you dis-like wasabi?</p> 	<p>Have you danced in a festival?</p> 	<p>Do you ride your bike to school?</p> 	<p>Do you love karaoke?</p> 

(7) 「ALTと活動しよう Ⅲ」

2日目 9:00~11:00

ALTと活動する3時間目です。前日の「Ⅱ」と比べて、レベルの高い活動を行います。

山形県英語合宿で行われた事例を紹介します。

① “Who is the thief?”

ALTが話した英文を聞き、その情報をもとにターゲットとなる泥棒を探すという活動です。

まず、6人1組の生徒だけのグループをつくります。6人のALTが、泥棒探しのための情報をひとつずつ持っています。生徒は、グループの中で担当するALTを決め、会場の中で歩いたり、隠れたりしているALTを探し出し、情報を聞き出します。このとき、メモをとっても良いことにします。ALTが持っている情報は、次の6文です。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 Steve has a green car. | 2 The person with no job has a no car. |
| 3 The policeman rides a motorbike. | 4 Tom does not drive a white car. |
| 5 Jack does not have a job. | 6 Steve is not a doctor. |



生徒は、聞いてきた情報をグループの中で出し合い、表に○を付けていきます。ただし、Table A（持っている乗り物に関する情報）もTable B（仕事に関する情報）も、4人が該当するのが1つだけである（乗り物を2台以上持っていたり、仕事が2つ以上あったりすることがない）ことを説明します。泥棒がわかったら、進行役のALTにそっと伝えます。一番早かったグループが勝ちです。使用する表と正解は次のとおりです。

Table A				
	Green car	No car	White car	Motorbike
Ken			○	
Tom				○
Jack		○		
Steve	○			

Table B				
	Doctor	No job	Policeman	Thief
Ken	○			
Tom			○	
Jack		○		
Steve				○

② Complete the song

ばらばらになった英語の歌詞を、歌詞全体の日本語訳を見ながら完成させる活動です。

教科書に載っているような有名でわかりやすい英語の歌を、CDやALTが歌って聞かせます。その後、生徒は2人一組になり、その歌の歌詞の日本語訳を受け取ります。英語の歌詞は、一文ずつ紙に書き、会場に適当に貼っておきます。生徒は、2人で相談し、日本語訳から英語の歌詞を予想し、それに合った英文を会場から探し出します。探し出した英文を順序よく並べ、完成したら、ALTに持って行き、チェックを受けます。早くOKをもらったペアが勝ちです。

③ Japanese top models

7～8人一組の生徒だけのグループをつくります。事前に、日本人スタッフとALT5人で、集合写真を撮っておきます。このとき、5名は様々なポーズをとり、グループに数だけ違う種類の写真を撮ります。グループの中で、モデル5人と写真家2～3を決めます。写真家は、渡されたスタッフの写真を見て、同じようにポーズをとるようモデルに英語で指示します。指示によりポーズが定まったら、写真家の代表がデジタルカメラで写真を撮り、その写真をスタッフがプロジェクタ等で大写しにします。ALT3～4人がジャッジとなり、感想を述べたり質問をしたりしたうえで点数をつけます。最も高い点数を取ったグループが勝ちです。

(8) 「スピーチトレーニング II」

2日目 11:00~12:00

1日目の「スピーチとトレーニング I」で作成した原稿のチェックとスピーチの練習を行います。可能な限り、原稿を見ないでスピーチするよう促します。原稿のチェックは、ALTの協力を得て行うようにします。

(9) 「英文を読もう」

2日目 13:00~14:00

ここでは、ひとつのまとまりのある英語の文章を様々な方法で音読します。紹介する活動の前に、単語の発音練習、ALTに続いての音読練習やペアでの練習などを行い、音読する英文に概ね慣れておくようにします。

① ALTぴったり音読

音読練習のひとつの方法です。日常の授業でも行われている方法かと思いますが、ALTが本文を読むのにぴったり合わせて同時に読むようにします。ALTには、生徒の状況に合わせて、スピードを少しずつ速くしていくようお願いしておきます。文章は、一文ずつ区切らないで、全体を通して続けて読むようにします。生徒には、もし途中で間違っても、読み直したりせずに、どんどん先へ進むよう指示します。うまく読めないときは、単語を文章の中で読む場合の音の変化に気付かせたり、イントネーションを極端に行わせたりするような工夫をしながら、練習を進めるようにします。

② 通訳になってみよう

英文の意味を考えながら音読を行う活動です。ALTに、本文をフレーズで区切って読んでもらいます。せいとは、それを聞きながら、区切ったところに斜線を入れていきます。

Do you know anything / about Yamagata? I think / that it is one of the most wonderful places / in Japan. There is a long and beautiful river / which is called Mogami gawa.

ここで、生徒は2人1組になります。1人がフレーズごとに音読し、もう1人がそのフレーズの意味を日本語で言います。「日本語で意味を言う人は、通訳になったつもりで言ってみましょう。」と働きかけます。

A : Do you know anything
 B : あなたは何か知っていますか
 A : about Yamagata?
 B : 山形について
 A : I think
 B : 私は思います
 A : that it is one of the most wonderful places
 B : そこが最もすばらしい場所のひとつだと
 A : in Japan.
 B : 日本で
 A : There is a long and beautiful river
 B : 長くて美しい川があり
 A : which is called Mbgami gawa
 B : 最上川と呼ばれています。

役割を交代して活動したら、日本語と英語の順番を変えて練習してみます。1人がフレーズごとに日本語を言ったものをもう1人が英語にします。このとき、英語を言う生徒は、本文を見ないで活動するようにします。本文のとおり英語でなくてもいいので、日本語に合う英語を考えてやってみるように働きかけます。

次に、同時通訳に挑戦します。一人の生徒は、フレーズごとに若干の間を取りますが、区切らずにすべての英文を続けて読むようにします。もう一人の生徒は、先ほどの練習をいかして、聞いた英文の日本語を言うようにします。何度か練習をしたら、本文と同じくらいのレベルで初見の英文を、ALTが読むのに合わせて日本語を言うような活動にも挑戦してみましょう。

(10) 「英文を書こう」

2日目 14:00~15:00

ここでは、「書くこと」に関する活動を行います。「書くこと」については、苦手と感じる生徒も多く、指導にも工夫が必要な技能です。ゲーム性のある活動を取り入れたり、他の3つの技能との関連を考慮したりすることが大切です。

① Good news and Bad news

山形県英語合宿での事例です。生徒全員に、次のようなシートを配付します。

Good news and Bad news	
Good news	Bad news
①	①
②	②
③	③
④	④

4人1組のグループになり、はじめに、他の人に教えたい“Good news”を英語で1人1文書きます。それを4人で交換し、“Good news”の欄を完成させます。例えば、夏休みの出来事として、次のような英文が考えられます。

Good news and Bad news		Group(A)
Good news	Bad news	
① We are on vacation.	①	
② We enjoyed swimming in the sea.	②	
③ We joined summer festival.	③	
④ We climbed a beautiful mountain.	④	

次に、各グループの代表のシートをグループ間で交換し、他のグループが書いた“Good news”ひとつひとつに対する“Bad news”を考え、空欄を埋めていきます。

Good news and Bad news		Group(A)
Good news	Bad news	
① We are on vacation.	① We have a lot of homeworks.	
② We enjoyed swimming in the sea.	② We got hurt by jellyfish.	
③ We joined summer festival.	③ We ate too much and were sick.	
④ We climbed a beautiful mountain.	④ There was a bear.	

各グループが“Bad news”を書き終えたら、シートを元のグループに戻します。その後、グループごとに、“Good news”と“Bad news”を一文にし、全員の前で発表します。

② 英語でレポート

「聞くこと」、「話すこと」と関連させた活動です。ALTの1人がプロスポーツ選手、オリンピックの金メダリスト、アカデミー賞を受賞した俳優、ノーベル賞を受賞した科学者や文学者などの役になり、テレビや新聞の記者役になる複数のALTからインタビューを受けるといふ、英語での模擬記者会見を行います。語彙や質疑の内容のレベルは、参加生徒の状況に合わせて調整します。生徒は、これを聞いて、その内容を英語でまとめます。その後、生徒は5～6人のグループになり、テレビ局の名前を自由に考え、それをグループ名にし、各自がまとめた英文を持ち寄って話し合いを行い、グループとしてのまとめを完成させます。最後に、グループの代表者がアナウンサーになったつもりで、グループでまとめた英文をもとに発表します。

より臨場感を出すために、ALTが演じた模擬記者会見の映像を生徒の発表の際に流したり、もし、時間があれば、各グループにデジタルカメラを準備し、記者会見の写真をとって、最終的にグループで英語の新聞をつくったりするような活動も考えられます。

(1 1) 「修了スピーチ」

2日目 15:00～16:00

本プログラム最後の活動です。スピーチトレーニングで作成した原稿をもとに、生徒一人一人が、ALTに自分の「思いを寄せているもの」を“Show and tell”の形式で紹介するスピーチを行います。生徒を5～10人程度のグループにし、各グループにALTが入るようにします。丸くなって全員で紹介するものが見えるような形態で行います。ALTには、1人ずつスピーチが終わったらその内容について英語で質問することと、全員が終わったら、グループ全体についてコメントしてもらうように依頼します。生徒には、スピーチが終わったらALTの質問に英語で答えるよう指示します。また、スピーチの際は、できるだけ原稿を見ないで、アイコンタクトを意識しながら話すよう指導します。





(12) 「閉講式」

2日目 16:00～16:30

山形県英語合宿の次第を例示します。閉講式と同じように中学生にとって、進行はすべて英語で行います。

- 1 Presentation of Diploma**
- 2 Closing Address**
 - The Vice Director of Compulsory Education Division
Yamagata Prefectural Board of Education
- 3 Address by the representative of the Staff**
- 4 Announcement**

時間に余裕があれば、スタッフ代表のあいさつの前に、参加生徒の代表者からスピーチを行ってもらうことで、閉講式が一層印象深いものになります。また、閉講式、閉講式ともに、参加生徒の保護者にも是非参観していただきましょう。

なお、“Diploma（修了証）”も英語で作成し、生徒1人1人に手渡します。山形県英語合宿の修了証（資料5）を紹介しますので、参考にしてください。

修 了 証 書

CIRTIIFICATE

OF

E-CAMP YAMAGATA 2009

This is to certify that

(参加生徒氏名)

has completed a course of study in

E-CAMP YAMAGATA 2009

on

31 July 2009.

Director of Compulsory Education Division
Yamagata Prefectural Board of Education

※下線部に主催代表者のサインを入れます。

4 その他

(1) 生徒・保護者ちらし

山形県英語合宿のちらし（資料6）を紹介します。希望者を募って、本プログラムを活用した活動を行う場合に参考にしてください。

(2) 生徒アンケート

事前に、参加生徒の英語に関する状況をつかむため、アンケート（資料7）を実施します。このアンケートの結果に基づいて、活動の内容やALTとの協力の在り方等を検討します。また、事後に、同様のアンケートを改めて実施し、活動の成果を振り返る際に活用することも考えられます。

(3) 保護者アンケート

事前に、参加生徒の健康状態等を把握するため、保護者に対してアンケート（資料8）を依頼します。結果から、個別の支援及び対応が必要な生徒がいる場合には、スタッフ間で共通理解を図るとともに、活動を実施する施設にも協力を依頼します。

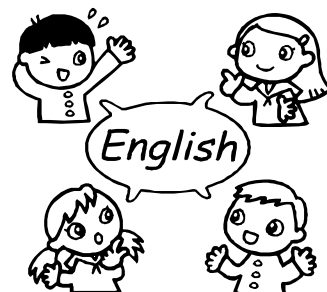
(資料6)

この夏、おもいっきり英語

E-CAMP YAMAGATA 2006

平成18年度山形県英語合宿

「勉強したことを生かして、いろいろな人たちと英語で話してみたいなあ。」
 「もっともっと英語が好きになりたい!」
 “E-CAMP YAMAGATA 2006”(平成18年度山形県英語合宿)は、
 そんなふうにいる中学生のみなさんのための、
 英会話合宿です。そう、「この夏、おもいっきり英語」です。



主催 山形県教育委員会
募集対象 県内公立中学校の英語を話したい、英語をもっと好きになりたい生徒50名
期日 平成18年8月8日(火)～11日(金)(3泊4日) 詳しい日程は裏面をご覧ください。
会場 山形県朝日少年自然の家
申込み期日 平成18年7月7日(金)
申込み方法 キリトリ線から下の「参加申込書」に記入して、家族の人に「参加同意書」を書いてもらって、あなたの中学校の担当の先生へ提出してください。後日、参加決定のお知らせを送ります。なお、希望者が50名を超えたときは、抽選等になる場合があります。

連絡先 山形県教育庁義務教育課 指導主事 近内孝哉 電話 023(630)3054
 ※このちらし(申込用紙)は義務教育課のWEBページからダウンロードすることができます。御利用下さい。
 URL : <http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoi/ku/700012/>

キリトリ

参加申込書	参加同意書
<p>私は“E-CAMP YAMAGATA 2006”(平成18年度山形県英語合宿)への参加を希望します。</p> <p>氏名 _____</p> <p>中学校名 _____ 中学校</p> <p>学年 _____ 年生</p> <p>意気込みや、要望などを書いてください。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	<p>私は、山形県教育委員会が主催する、“E-CAMP YAMAGATA 2006”(平成18年度山形県英語合宿)に、</p> <p>(参加者氏名) _____</p> <p>を参加させることに同意します。</p> <p>保護者名 _____ 印</p> <p>住所 〒 _____</p> <p>電話 _____</p> <p>ご要望等があればお書きください</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

この申込書・同意書によって得られた個人情報は、本事業の運営以外に使用しません。

(資料 7)

E-CAMP YAMAGATA 2009 (平成 21 年度山形県英語合宿) **保健アンケート**

山形県教育庁義務教育課

◎ このアンケートは、保護者の方が記入してください。合宿に参加する上で配慮が必要だと判断されるものは漏らさず記入くださるようお願いいたします。

◎ このアンケートにより得られた個人情報は、本合宿の運営以外の目的に使用しません。

① 参加者氏名 _____ ② 保護者氏名 _____

③ 平 熱 _____ 度 ④ 血 液 型 _____ 型

⑤ お子様に現在治療している病気やケガはありますか。(ある ・ ない) (※どちらかに○を付けてください)

「ある」と答えた方は、病気やケガの概要をお書きください。また、服用している薬があればお書きください。

⑥ お子様にアレルギーはありますか。(ある ・ ない) (※どちらかに○を付けてください)

「ある」と答えた方は、何に対してどのような症状が出るかなどについてお書きください。また、服用している薬があればお書きください。

⑦ その他、特に生活上配慮しなければならないことがあればお書きください。

⑧ 合宿中の活動に対しては、不慮の事故等に備えて、スタッフ等の体制を十分なものにするとともに、参加料により傷害保険に加入していただきますが、万が一事故が発生した場合、至急保護者の方々へ連絡するとともに、必要に応じて医療機関への搬送等を行います。その際の、緊急連絡先をお書きください。(ここに記載いただいた個人データは合宿終了後速やかに消去します。)

	氏名(続柄)	電話番号	連絡先名(自宅・職場等)
第1連絡者			
第2連絡者			

◎ 合宿中の様子を、写真やVTRにより記録し、今後の事業広報などに活用する予定ですが、このことに同意いただけますか。(同意する ・ 同意しない) (※どちらかに○を付けてください。)

御協力ありがとうございました。

